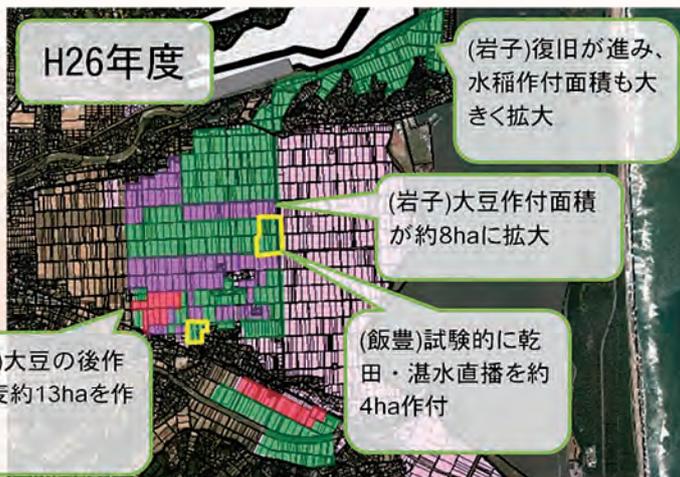


# みどいのこだま

～ふくしまからはじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動～

福島県相双農林事務所農業振興普及部  
〒975-0031 南相馬市原町区錦町1-30  
TEL (0244) 26-1149  
FAX (0244) 26-1169  
E-mail: shinkouhukyu.af06@pref.fukushima.lg.jp

## 震災後の担い手について ～相馬市飯豊地区の取り組み～



相馬市では、平成24年度からヤマト福祉財団の助成により「農地復旧・復興プロジェクト」に取り組み、飯豊地区の農地復旧とその後の地域農業を担う3つの農業法人が設立されました。

いずれの法人も主に大豆を作付けしていますが、それぞれに特色があり、震災後の農業のモデルとなっています。

### (1) 飯豊ファーム

新田集落と程田集落の担い手による法人で、若手農業者の雇用や作付品目の多様化など最も活発に動いており、地域農業の受け皿として期待されています。

### (2) 岩子ファーム (岩子集落)

岩子集落では震災前から集落で大豆を作付けしており、これまでの経験と集落営農による効率的な農地利用を基に、着実に大豆の面積を広げています。

### (3) アグリフード飯渕

南飯渕集落の津波被災農家を中心とした法人で、規模は最も小さいですが、園芸作物で培った栽培技術は3法人の中でも随一です。

相馬市では他にも新たな組織が立ち上げられており、これからの農業を担う存在として注目されています。

凡	例
津波被災田	（赤色）
水稲作付	（緑色）
大豆作付	（紫色）
小麦作付	（赤色）
ほ場整備	（白色）

# 平成 26 年産米も、すべてのお米の放射性物質検査を行います

## 1 平成 26 年産米の放射性物質全量全袋検査について

県では、平成 24 年産米から、すべての米の放射性物質検査を実施してきました。生産者の皆様の御理解と御協力に、感謝申し上げます。

この取組は、多くの消費者から高い評価をいただいております。県産米への信頼確保に役立っています。

「福島県では米の全量全袋検査を実施していますが、どう評価しますか？」  
 に対して、「評価する」と答えた方：89%  
 (福島県消費者団体連絡協議会「平成 25 年度放射能による風評等に関するアンケート」より)

平成 26 年産米も、県産米の安全性確保と一層の信頼向上のため、全量全袋検査を実施しますので、引き続き皆様の御理解と御協力をお願いします。

## 2 検査の対象となる米

<すべてのお米を検査していることが「消費者の信頼」を高めます>

出荷・販売する米はもちろんですが、自家用の「飯米」や、親戚などに配る「縁故米」、食用となる「ふるい下米」など、県内で収穫されたすべての米を検査します。

## 3 平成 26 年産米のラベル

<平成 26 年産米検査のラベルは「緑色」です>

平成 26 年産米の検査で使用する「バーコードラベル」は、後日、地域協議会（市町村）から配布されますので、検査を受けるまでに必ずすべての米袋に貼り付けてください。

なお、平成 26 年産米の検査には、24 年（水色）、25 年（ピンク色）産米の検査用のバーコードラベルは使用できません。



検査を行い、基準値以下であることを確認した米袋には、「検査済ラベル」が貼られます。



必ず、米の全量全袋検査を受けてから、「出荷・販売」や「飯米」、「縁故米」として利用するようお願いいたします。

## 原発からの飛散物について

先般、昨年の夏に東京電力第一原発のがれき撤去に伴い粉じんが飛散したことが、南相馬市の 25 年産米から基準値を超過する玄米が発生した原因ではないかとの新聞報道がなされました。

しかし、第一原発からの粉じんの飛散が要因の一つである可能性はあるものの、土壌や用水の影響に加え、森林や周辺からの粉じん飛散なども考えられ、基準値超過の原因はまだ特定されていません。

このため、県と農林水産省では、東京電力に対し飛散防止対策の徹底を申し入れるとともに、昨年度から引き続き要因調査やモニタリング強化に取り組んでいます。

まず、福島県農業総合センターや新潟大学では、土壌や用水の影響を確認するとともに、ゼオライト・カリ肥料などの資材施用量が異なる複数の区を設け、効果的な吸収抑制対策のさらなる検証を行っています。



また、今後の第一原発のがれき撤去に備え、粉じんモニタリングを強化しており、福島県・農業環境技術研究所・農林水産省（消費・安全局）が相双地方を中心に計 56 地点にダストサンプラーなどを設置し、常時監視しています。これらのデータに異常があれば、速やかに周辺環境の調査などを行うこととしています。

さらに、農業環境技術研究所では、粉じんの粒子について、水溶解性や元素組成等を分析して、その由来を検証することになっています。

基準値超過の要因については、新しいことが分かり次第、お知らせします。

写真 ダストサンプラー（上：設置された状態、下：内部）

## 平成 26 年産大豆・小豆のモニタリングについて

相馬地方で出荷・販売される大豆・小豆は、平成 24・25 年産に引き続き、緊急時環境放射線モニタリングを実施し安全性を確認します。

出荷・販売するためには、旧市町村単位で放射性セシウム検査を行い、安全性を確認する必要があります。安全性の確認のためのモニタリングは、大豆・小豆を生産されている方に、相双農林事務所の職員が訪問して、検体を採取します。

**大豆・小豆はモニタリングの検査結果が出るまで、出荷・販売しないようにお願いします。**

表 1 大豆の区域(旧市町村)とモニタリング点数

モニタリング点数	新地町	相馬市	南相馬市		
			鹿島区	原町区	小高区
全袋検査	—	—	—	太田、石神	—
出荷者全員	—	—	—	原町、高平、大甕	全域
面積 1ha に 1 点以上	—	玉野	真野、上真野	—	—
地区で 3 点以上	全域	その他の区域	鹿島、八沢	—	—
地区で 1 点以上	—	—	—	—	—

表 2 小豆の区域(旧市町村)とモニタリング点数

モニタリング点数	新地町	相馬市	南相馬市		
			鹿島区	原町区	小高区
全袋検査	—	—	—	—	—
面積 10a に 1 点	—	—	—	太田、大甕	全域
地区で 3 点以上	—	—	—	石神	—
地区で 1 点以上	全域	全域	全域	原町、高平	—

## 鳥獣駆逐用の花火は事故に気を付けて使いましょう



鳥獣駆逐用花火の使用中に花火が破裂して負傷する事故が、県内で相次いで発生しています。駆逐用の花火は玩具用の花火より強力な火薬が使われているため、専用ホルダーを使ってもホルダーごと破損して負傷したり、直接手で持って使用して指を欠損したりする事故が発生しています。**花火を使用する際は、直接手で持つて使用しないようにしましょう。**

鳥獣駆逐用花火を使用する際は、①パイプなどで開けた穴に専用ホルダーごと差し込んで使用する、②筒内の花火が燃え尽きるまで近づかない、などの安全対策を徹底してください。

写真 ホルダーごと地面に差す使用法（県農業総合センター撮影）

## 農作業事故に注意しましょう

これからの季節は稲刈りや秋耕など、コンバインやトラクター等の農業機械を使う作業が増えてきます。以下のことを心がけて、農作業事故の無い、笑顔の多い秋にしましょう。

- ① 農業機械は日頃から整備点検を行いましょ。なお、整備点検・清掃作業をする前に必ずエンジンを停止しましょ。
- ② 農業機械の運転は、進行方向の安全を十分に確認しましょ。特に、後進時はより注意して運転しましょ。
- ③ コンバインなど機械への巻き込まれ事故に注意しましょ。また、機械の操作は余裕を持って慎重に行いましょ。

## 「あ、農業好きかも!？」という皆さん!! 農業短期大学校で農業を学んでみませんか?

福島県農業総合センター農業短期大学校では、平成27年度の学生を募集しています。

### 【学科・専攻】

学科名	専攻	
本科	農産学科	稲作、畑作
	園芸学科	野菜、果樹、花き
	畜産学科	酪農、肉畜
研究科	経営(作物、野菜、果樹、花き、酪農、肉畜)	

栽培・飼育技術だけでなく、加工・販売技術も学べるよ!

卒業後の進路は、就農(自家・法人)・JA・農業関連会社などいろいろだよ。4年生大学への編入学もできるんだ!



### 【募集概要】

項目	本科			研究科
	推薦試験	一般試験		一般試験
		前期	後期	
受付日	10/7(火)~10/17(金)	11/11(火)~11/21(金)	1/6(火)~1/26(月)	12/25(木)~1/20(火)
試験日	11/7(金)	12/5(金)	2/17(火)	2/3(火)
試験科目	(1)小論文 (2)面接	(1)学力試験 国語総合、数学 I (2)面接	(1)学力試験 国語総合、数学 I (2)面接	(1)小論文 (2)面接

募集要項・入校案内は相双農林事務所農業振興普及部で配布しておりますので、御来庁いただくか、お電話ください。

(担当) 経営支援課 <sup>かかみ</sup> 各務  
電話番号: 0244-26-1152